

# まぼろしへのかけはし

## “高齢者ケアプロジェクト” 起動中！

看護課長 臼井 直美

高齢化が加速し、高齢者の定義も 75 歳以上に見直しが見直しが検討されています。

当院の 75 歳以上の患者さまは、52%（平成 27 年度 48%）となっています。

そこで『高齢者に優しい病院』をめざし、平成 27 年より“高齢者ケアプロジェクト”を立ち上げ、活動を開始してきました。メンバーは脳神経外科医・看護師・薬剤師・リハビリセラピストです。

特別顧問として、兵庫県立大学老人看護学助教、老人看護専門看護師の中筋美子先生を迎え、年 16 回におよぶベッドサイド実地指導や事例検討会を重ねてきました。この取り組みにより、スタッフの高齢者ケアに対する意識が変わり、その人らしさを尊重し患者さまにとって心地の良い環境を提供できるように努め、患者さま、ご家族さまの思いをしっかりと受け止めたコミュニケーションを心がけています。

また、当院の職員だけでなく地域の看護・介護職員と共に研修会を行い、在宅を含めた高齢者ケアの連携へ活動を広げています。

平成 28 年 9 月には、全職員にアンケート調査を実施しました。看護師 73%、他部門職員の 68%が、「高齢者にとって優しい病院になりたい」と認識しており、看護師 89%、他部門職員の 72%が「高齢者への関わり方に対策や工夫を行っている」ことが分かりました。

今後も高齢患者さまが安心して治療できる地域中核病院として機能し、住み慣れた地域になるべく早期に戻れるように、地域と共に高齢者ケアの向上に努力してまいります。



看護師・訪問看護師・介護士・理学療法士との  
事例検討会



院内デイ始めました



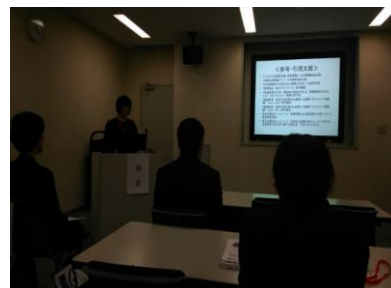
# 日本医療マネジメント学会で発表しました

2月26日(日) 9:30~15:30 第11回兵庫県支部  
学術集会在、メインテーマ「地域医療構想下で活かす  
医療マネジメント」で、明石市生涯学習センターに  
於いて、開催されました。

当院から、看護師が下記の3題を発表しました。

1. 「生きた証」を残したかった患者の意思決定を  
支えた一症例 奥村沙織
2. 腹膜透析患者の在宅療養支援に向けた訪問看護師  
との連携推進への取り組み 古川有美
3. 生活困窮者の退院支援～社会保障制度の限界の現状～ 岩村京子

地域でその人らしく暮らすための看護ケアマネジメント、できるだけ今の暮らしが  
継続できるよう支援していくために、本人の意思を尊重した関わりが重要であること  
を医師、看護師のほか事務局、薬剤部、臨床検査室、臨床工学室などの方々とディス  
カッションを行い学びを深めることができました。



## お知らせ

### 1. 医師異動のお知らせ

1月末退職	麻酔科	西海	智子医師
3月末退職	外科	阿部	紘一郎医師
	外科	永田	真知子医師
	外科	山本	真由子医師



### 2. 3月のホッとひと息寄り道講座

テーマ： **日常にひそむエコノミー症候群**  
**～エコー検査で心臓・血管をみる～**

講師： 臨床検査技師

日時： 3月13日(月)、22日(水) 10:00~10:30

場所： 正面玄関ホールの公衆電話前

### 3. 4月のオープンカンファレンス開催のお知らせ

日時： 4月27日(木) 17:30~18:30

場所： 2階講義室

テーマ： **【医療安全】**

対象者： 医療職・介護職の方

※地域医療連携室まで申し込みをお願い致します(当日まで可)



<クリスマスローズ>

きほうへのかけはし

に関するお問合せは、

地域医療連携室までお願いします。

連絡先 〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33-1

TEL 079-442-3981(内線5146)

FAX 079-443-1401

ホームページ <http://www.hospital-takasago.jp/>